

### こどもの読書週間

4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。

#### 図書館展示 **赤ちゃん絵本を楽しもう展**

(本館1階) 4/28(土)～5/24(木)

図書館本館で第2・第4木曜日に「赤ちゃんタイム」を開始して、5年が経ちました。赤ちゃんを連れた保護者の方にゆっくり過ごしていただくために、図書館とボランティアがサポートする時間です。その時間にご紹介した、赤ちゃんから楽しめる絵本を展示します。



#### 図書館講座参加募集 **たかぎとしこさんのわらべうた講座**

昨年好評だった講座を、今年度は右の日程で3回講座を行います。

5/18(金)

9/21(金)

2019 1/18(金)

① 【親子向け講座】午前10時15分～11時

わらべうた遊びを親子で楽しむ講座です。乳幼児と保護者15組。

原則、3回ともご参加ください。

② 【大人向け講座】午前11時10分～午後0時40分

子育て支援をする大人がわらべうたを学ぶための講座です。①の時間も見学していただけます。大人20名。

申込受付開始：4月20日(金) 図書館本館へ直接、または電話(0574-62-5120)でお申し込みください。

### 職員のおすすめ《この書き手に注目!》

#### 柚月 裕子

(ゆづき ゆうこ 1968年岩手県生まれ)  
1968年岩手県生まれ。『臨床真理』(宝島社)で「このミステリーがすごい!」大賞、『孤狼の血』(KADOKAWA)で日本推理作家協会賞を受賞。

今回、ご紹介するのは『盤上の向日葵』(中央公論新社)です。ミステリーを得意とする著者ですが、この本はミステリーというよりも、将棋に全てを捧げる男たちの熱い思いとその生き様を描いた人間ドラマです。

山中で発見された白骨死体。現場に残された唯一の手がかりである将棋の名駒をたよりに捜査が進められていきます。4カ月後、竜昇戦の会場である天童に降り立った刑事がみた世紀の対局。その先には壮絶な結末が待っています。

たかが将棋の駒と思うなかれ。その値段なんと600万円! 将棋を娯楽の一つくらいと考えていた私はただ驚くばかり。作品の中には何度か対局の場面が出てきますが、命を削って将棋盤に向かう男達の緊張感がリアルに描かれていて、駒を盤に打ちつける感触やピシッという緊迫した音があたかも聞こえてくるかのようです。

私のように将棋に明るくない人でも、将棋が分かる人ならより一層、勝負の駆け引きの面白さも併せて楽しめる本です。

(帷子分館 磯道)

#### 矢崎 節夫

(やざき せつお 1947年東京都生まれ)  
児童文学者。絵本や童話の作品が多数あり、翻訳も手掛ける。1982年『ほしとそらのしたで』(フレーベル館)で赤い鳥文学賞、1993年『童謡詩人 金子みすゞの生涯』(JULA出版局)で日本児童文学学会賞受賞。

絵本や童話の書き手として活躍する著者ですが、これまでほとんど知る人のいなかった詩人・金子みすゞを世に知らしめた人物としても知られています。

みすゞの弟が保管していた3冊の手帳をもとに『金子みすゞ全集』(JULA出版局)を1984年に出版し、みすゞの作品を世界に広げました。みすゞの没後110年を期して出版された『金子みすゞの110年』(JULA出版局)では監修という立場ですが、巻頭文を書き、みすゞの作品がみつかるまでのドラマチックな経緯を編集部への質問に答える形で語っています。みすゞの作品、生涯、娘の話、みすゞに関する映画、長門市にある「金子みすゞ記念館」についてなど、写真も多く掲載し、金子みすゞ研究の集大成といえる本となっています。

(本館 可見)

分類	書名	著者名	出版者名
心理・宗教			
146.8/カ/	<b>わたしを生きる知恵</b> フェミニストカウンセラー・河野貴代美が政治学者・岡野八代と対談し、新しい形の家族、個の尊重の問題などを語り合う。さらに、「母と娘の問題」「罪悪感」などをテーマに、フェミニストカウンセリングについて紹介する。	河野貴代美／著	三一書房
193.0/フ/	<b>ノアの箱舟の真実</b> 〈箱舟の書板〉と呼ばれる楔形文字の粘土書板に書かれていた「ノアの箱舟」に関する驚きの事実とは。メソポタミアの洪水伝説が旧約聖書に組み込まれていく過程を解明しながら、“常識”を覆す真実を明らかにする。	アーヴィング・フィンケル／著	明石書店
歴史・伝記			
289.1/ク/	<b>おかげさまで、注文の多い笹餅屋です</b> 75歳で笹餅屋を起業し、90歳を過ぎた今も1年で5万個の笹餅を作っている津軽の名物おばあちゃんが、60歳で本格的な餅作りを始めてからのことと、これまでの人生について語る。レシピも掲載。	桑田ミサオ／著	小学館
社会			
311.8/ケ/	<b>ヒトラー『わが闘争』とは何か</b> 何が書かれているのか？ 世界でどう読まれてきたのか？ フランス国立科学研究センター研究部長の歴史学者が、物議をかもし続けているナチズムのバイブル「わが闘争」の内容とその受容・反発の歴史をときあかす。	クロード・ケテル／著	原書房
318.0/チ/1	<b>地域づくりの基礎知識 1</b> 地域課題を理解するためのガイド。1は、「地域歴史遺産」を活かした地域づくりについての基本的な考え方から、実践のための具体的な手法までを体系的に解説する。具体的な事例を紹介するコラムも掲載。	奥村弘／編	神戸大学出版会
369.3/ハ/	<b>津波の霊たち</b> 在日20年の英国人ジャーナリストは、東日本大震災発生直後から被災地に通い続け、宮城県石巻市立大川小学校の事故の遺族たちと出会う。取材は相次ぐ「幽霊」の目撃情報と重なり。「黒い迷宮」の著者による迫真のルポ。	リチャード・ロイド・ソリー／著	早川書房
386.1/ハ/	<b>鯉のぼり図鑑</b> 鯉のぼり文化300年のすべてがわかる一冊。江戸中期に誕生した鯉のぼりの歴史を解説し、江戸時代から現代までの、100点以上の逸品や、鯉のぼりができるまでの工程、日本各地の鯉のぼり祭りなどを紹介する。	林直輝／文	小学館
396.2/イ/	<b>八甲田山消された真実</b> 師団長証言と異なる顛末書のねつ造、行軍前に八甲田で訓練をしていない五聯隊、混乱とパニックが起きた部隊と脱走兵の出現…。最後の生き証人の声や関連資料の調査から、八甲田雪中行軍遭難事故の新事実を浮かび上がらせる。	伊藤薫／著	山と溪谷社
自然科学・医学			
493.7/7/	<b>私はすでに死んでいる</b> あっけなく崩壊する自己とは何なのか。コタール症候群、認知症、離人症…。当事者や研究者へのインタビューをはじめドッペルゲンガー実験や違法手術の現場も取材し、不思議な病の実相と自己意識の謎に神経科学の視点から迫る。	アニル・アナンサスワミー／〔著〕	紀伊國屋書店
499.7/イ/	<b>市販薬は成分表示だけ見ればいい</b> 最適な薬を自分で選べるよう、市販薬をめぐる7つの真実や、かぜ薬・胃腸薬・貼り薬等の成分について解説する。ドラッグストアで買える漢方薬徹底ガイドも収録。新たに市販薬に使用可能となった成分などを追記した増補改訂版。	岩井浩／著	誠文堂新光社
技術・家政			
548.3/ナ/	<b>ロボット-それは人類の敵か、味方か</b> 人工知能(AI)の進化と共に注目されるロボット。ロボティクス(ロボット工学)を専門とする著者が、その歴史を振り返るとともに、ロボットとAIの関わりを詳しく説明。さらに、ロボティクスの現状と未来を分析・予測する。	中嶋秀朗／著	ダイヤモンド社
596.6/カ/	<b>初めて作るかわいい練りきり和菓子</b> 動物や花・植物モチーフの練りきり、松竹梅、こいのぼりなどお祝い・イベントモチーフの練りきり…。白餡と求肥を混ぜて作った生地「練りきり」を使ったかわいい和菓子の作り方を紹介します。いろいろ使えるモチーフが満載。	川嶋紀子／著	産業編集センター

## 産業

- 606.9/ヒ/ **「太陽の塔」岡本太郎と7人の男(サムライ)たち** 平野暁臣／著 青春出版社  
太郎に選ばれた誇りと自負心、太郎との衝突、ビジネスを超えた無条件の情熱…。岡本太郎のもとで「太陽の塔」の建設に携わった男たちが、当事者しか知り得ない知られざる真実を語った証言集。
- 689.4/ヤ/ **外国人が熱狂するクールな田舎の作り方** 山田拓／著 新潮社  
なにもない飛騨の里山を、毎年数千人の外国人旅行者が訪れる「宝の山」に変えた逆転の発想とは？地域の課題にインバウンド・ツーリズムで解決を図った「逆張りの戦略ストーリー」を紹介する。

## 芸術

- 726.9/キ/ **切り絵でつくる百人一首** 谷知子／監修 誠文堂新光社  
「光琳かるた」をもとにした、風雅な「かるた絵切り絵」のつくり方を紹介。百人一首の一首一首にわかりやすい鑑賞のポイント、歌人プロフィールの解説付き。
- 762.1/ナ/ **キンノヒマワリ ピアニスト中村紘子の記憶** 高坂はる香／著 集英社  
日本クラシック音楽界の大輪の花・中村紘子。日本が敗戦から立ち上がる中、彼女はピアノと度胸、政治力で単身世界に打って出た！永遠のピアニストの生きざまを、専属マネージャー、調律師、音楽家たちの証言をもとに描く。

## 日本文学－作家論

- 910.2/イ/ **家族戦争** 西館好子／著 幻冬舎  
家族が家族でいられるのは難しいこと、一時的なこと。本質は別れていくことにあります。元夫・井上ひさしとの、すさまじくも濃密な人生から、今伝えたいことを綴る。失敗から、家族の本質が見えてくる一冊。

## 日本文学－小説

- 913.6/アサ/ **長く高い壁** 浅田次郎／著 KADOKAWA  
日中戦争の最中。従軍作家として北京にいた流行探偵作家の小柳逸馬は、突然の要請で前線へ向かうことに。万里の長城、張飛嶺で待っていたのは、分隊 10 名全員死亡という大事件だった。
- 913.6/アサ/ **ぼくがきみを殺すまで** あさのあつこ／著 朝日新聞出版  
敵国ハラの捕虜となった青年 L は、ハラの友人ファルドと過ごした日々を敵兵に語り…。児童文学の名手が描く戦争の物語。
- 913.6/アン/ **本のエンドロール** 安藤祐介／著 講談社  
印刷会社の営業・浦本学は就職説明会で言った。「印刷会社はメーカーです」営業、工場作業員、DTP オペレーター、デザイナー…。印刷会社全面協力のもと、奥付には載らない本造りの裏方たちを描いたお仕事小説。
- 913.6/ウエ/ **かちがらす** 植松三十里／著 小学館  
佐賀藩主・鍋島直正は、日本を欧米列強の従属国にさせないために、反射炉の建設、大砲の製造、蒸気船の建造などの事業にいどんだ。その軍事力は、幕府側と倒幕派双方から求められ…。
- 913.6/カク/ **私はあなたの記憶のなかに** 角田光代／著 小学館  
K 和田くんは、他人の弱さに共振して自分をすり減らす消しゴムのような男の子で…。「猫男」をはじめ、「父とガムと彼女」「水曜日の恋人」など全 8 編を収録。雑誌や単行本に掲載された作品をまとめる。
- 913.6/コイ/ **死の鳥** 小池真理子／著 文藝春秋  
定年後、小説講座で教えながら独り暮らす、澤登志夫。プライド高く生きてきた男が不治の病に侵され、余命を知った時、死をどう迎えるか。現代をゆさぶる傑作長編。
- 913.6/スミ/ **青くて痛くて脆い** 住野よる／著 KADOKAWA  
僕が、秋好が残した嘘を、本当に変える。それは僕にとって、世間への叛逆を意味していた。青春の煌きと残酷さを痛烈に描ききった“喪失”のその先の物語。
- 913.6/チハ/ **クローゼット** 千早茜／著 新潮社  
秘密に束縛される洋服補修士の女。好きな事から逃げてばかりいるカフェ店員。服を愛している。それだけが共通点のはずだった…。心の中のいちばん弱くて大事なところを刺激する長編小説。

913.6/ニシ/	<b>おまじない</b>	西加奈子／著	筑摩書房
	少女、モデル、キャバ嬢、レズビアン…。社会の価値観に縛られ、「生きづらさ」を感じている「女の子」たちが「おじさん」のなにげない一言で救われ…。全8編を収録。		
913.6/ハラ/	<b>それまでの明日</b>	原寮／著	早川書房
	探偵事務所の沢崎のもとに、消費者金融で支店長を務める望月が訪れた。融資が内定している赤坂の料亭の女将の身辺調査を依頼されるが、女将はすでに亡くなっていた。さらに望月が姿を消し、沢崎は金融絡みの事件の渦中に…。		
913.6/マキ/	<b>首都圏大震災</b>	牧野武則／著	幻冬舎
	伊豆半島沖で奇妙な音を耳にした量子コンピュータの研究者・吉岡は、観測とデータ解析を進める。それは日本史上最大級の超巨大地震の発生を示すものだった。最新研究をもとに描いた、東京直下型大地震のシミュレーション小説。		
913.6/マル/	<b>龍の耳を君に</b>	丸山正樹／著	東京創元社
	殺人犯を目撃したのは緘黙症の少年だった。話せない少年の証言は認められるのか。言語とは、家族とは何かを手話通訳士を通して描く連作ミステリ。「デフ・ヴォイス」の続編。		

日本文学－エッセイ			
914.6/ハン/	<b>恨みっこなしの老後</b>	橋田壽賀子／著	新潮社
	イヤな頼まれごとを断る術。老いを自覚せず、ミエを張り続けることの危険性。人間関係をスッキリさせるお金の使い方…。92歳現役脚本家が、七転び八起きの末にたどりついた「自分を楽にする」生き方を綴る。		
914.6/フジ/	<b>常識は凡人のもの</b>	藤原正彦／著	新潮社
	小学校低学年からの早期英語教育は不要。欧米主導の経済ルールには従うのは不利なだけ。外交での謙虚さは弱みの裏返しとしか取られない…。一見、正しい定説を軽やかに覆す!		
914.6/ムレ/	<b>ほどほど快適生活百科</b>	群ようこ／著	集英社
	衣食住、健康、お金、仕事、趣味、人間関係、エイジング…。悩み多き暮らしのあれこれを、今よりもう少し快適に、もう少し楽しくするための100のルールとヒントを綴る。		

<b>雑誌の入れ替えについて</b>			<b>●帷子分館 新規受け入れ雑誌</b>		
今年度から次の雑誌が新しく入ることになりました。			<b>マイガーデン</b> (マル出版)	年4回	園芸
<b>●本館 新規受け入れ雑誌</b>			<b>ランニングスタイル</b> (榎出版社)	月刊	スポーツ
<b>マリソル</b> (集英社)	月刊	女性ファッション	<b>エクステリア&amp;ガーデン</b> (ブティック社)	年4回	造園
<b>ナショナルジオグラフィック英語版</b> (National Geographic Society)	月刊	自然科学・英語	<b>Choice</b> (ゴルフダイジェスト社)	年4回	スポーツ
<b>日経ソフトウェア</b> (日経BP社)	隔月	コンピュータ	<b>&amp;home</b> (エフジ-武蔵)	年4回	インテリア
			<b>Mac Fan</b> (マイナビ)	月刊	コンピュータ
			<b>ランドネ</b> (榎出版社)	月刊	アウトドア
			<b>nina's</b> (祥伝社)	年6回	女性ファッション

<b>貸出カードはお持ちですか</b>		<b>【貸出カードの登録内容の確認について】</b>
<p>可児市内に住んでいる人、可児市へ通勤・通学している人は、どなたでも無料で貸出カードを登録できます。</p> <p>多治見市、美濃加茂市、御嵩町、加茂郡、土岐市、犬山市に住む人も登録できます。</p> <p>貸出カードを登録する時は、住所を確認できるもの(免許証、健康保険証等)をお持ちください。</p> <p>お一人10冊まで、3週間借りることができます。</p>		<p>図書館の貸出カードの有効期限は3年です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。</p> <p>高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。</p>

開館時間	【本館】 平日 10:00～19:00、土日祝 10:00～17:00 【分館】 全日 9:00～17:00	休館日	毎週月曜日、毎月最終金曜日 4月 2,9,16,23,27,30 日
------	---	-----	---------------------------------------

 <p>スマートフォン用サイト</p>	<p>「図書館だより」2018年4月号</p> <p>発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574) 62-5120</p> <p>資料検索・予約は <a href="http://www.kani-lib.jp/">http://www.kani-lib.jp/</a> をどうぞご利用ください。</p>
--	--